

掲示 板

- I. 平成30年度 夏期スクーリングの開講について
- II. 「教職実践演習（高）」の開講について
- III. 平成30年度 単位修得試験日程について
- IV. 平成30年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について
- V. 学費の分納について（前期生対象）
- VI. 単位修得試験（8月試験）の実施について
- VII. 教職課程の法律が変わります【重要】
- VIII. 卒業生だより
- IX. 行事予定（6月・7月）

注意事項

1. 事務取扱時間

月～土曜日 9：00～17：00

日曜日 休み（ただし、単位修得試験やスクーリング等の
行事のある場合は、その行事の開催時間に応じて
事務の取扱いを行います。）

2. 電子メールの宛先

csoffice@ogu.ac.jp

電子メール（書面も含む）での問い合わせには、必ず学籍番号
と氏名を明記してください。

3. ホームページによるシラバスの閲覧について

各授業科目のシラバスはホームページよりご確認ください。

なお、ホームページを閲覧できる環境のない方は、通信教育部
事務室にお問い合わせください。

ホームページアドレス

<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>

掲 示 板

I. 平成30年度 夏期スクーリングの開講について

1. 日程および時間割

【第Ⅰ期】 (開講期間：平成30年7月28日～8月3日)

講義期間	I	II	III	IV
	9:00～10:45	11:00～12:45	13:30～15:15	15:30～17:15
7月28日(土)	情報処理演習(本多 剛)		商業学Ⅰ(木村 貞子)	
7月29日(日)	英語Ⅰ(近松 明彦)		保険論Ⅰ(野口 清司)	
7月30日(月)	流通政策Ⅰ(加茂 英司)		基本会計学Ⅰ(郡司 健) (旧)会計学Ⅰ	
7月31日(火)	入門簿記(船本 修三)			
8月1日(水)	(旧)簿記原理AⅠ		会計監査論Ⅰ(伊賀 裕)	
8月2日(木)	工業簿記(後藤 晃範) (旧)工業簿記Ⅰ			
8月3日(金)	予 備 日			

- (注) 1. 7月28日(土) 9:00～9:45 オリエンテーション
 2. 8月2日(木)Ⅱ・Ⅳ講時にスクーリング単位修得試験を実施する。

【第Ⅱ期】 (開講期間：平成30年8月4日～8月10日)

講義期間	I	II	III	IV
	9:00～10:45	11:00～12:45	13:30～15:15	15:30～17:15
8月4日(土)	英語Ⅱ(東條 良次)		スポーツ実習(山内 武)	
8月5日(日)	流通論Ⅰ(稲田 賢次)		マーケティング論Ⅰ(金丸 輝康)	
8月6日(月)	工業簿記Ⅱ(後藤 晃範)		基本会計学Ⅱ(田中 延幸) (旧)会計学Ⅱ	
8月7日(火)				
8月8日(水)			経営分析Ⅰ(伊賀 裕)	
8月9日(木)				
8月10日(金)	予 備 日			

- (注) 8月9日(木)Ⅱ・Ⅳ講時にスクーリング単位修得試験を実施する。

掲 示 板

2. スクーリング単位修得試験受験の要件

各科目の授業時間数は1日連続2講時、6日間で12講時です。スクーリング単位修得試験の受験には事前にレポート課題を作成し、スクーリング初日に提出したうえで全講時の3分の2以上の出席が必要です。3分の2以上出席できない場合は受験できません。

3. スクーリング受講手続について

- (1) スクーリング参加申込書等、必要書類を大学に送付する。〔機関誌平成30年5月号巻末の「2018スクーリングの手引き」をご覧ください。〕

↓

- (2) 大学から個々の受講料等の金額を印字した「納付書」を送付

↓

- (3) 送付された納付書により銀行窓口で振込
納付書の「振込証明書」部分を大学に送付する。

4. 受講申込受付期間

平成30年6月11日(月)～6月22日(金) 必着

5. 参加費用

- (1) 参加手数料 1,500円
- (2) 受講料 1科目(2単位) 4,000円

6. 振込証明書提出期日

平成30年7月6日(金)

掲 示 板

Ⅱ. 「教職実践演習（高）」の開講について

「教職実践演習（高）」を次のとおり開講します。受講予定の方は所定の手続を行ってください。

1. 開講期間

平成30年7月28日(土)～平成30年8月2日(木)【最終日8月2日(木)は予備日】

2. 講義時間と担当者

開講日	曜日	講 時		担当者
平成30年7月28日	土	1	9:00～10:45	井上 専
		2	11:00～12:45	井上 専
平成30年7月29日	日	1	9:00～10:45	岩岡 眞弘
		2	11:00～12:45	谷口 高士
		3	13:30～15:15	谷口 高士
平成30年7月30日	月	1	9:00～10:45	三輪 信哉
		2	11:00～12:45	岩岡 眞弘
		3	13:30～15:15	岩岡 眞弘
平成30年7月31日	火	1	9:00～10:45	三輪 信哉
		2	11:00～12:45	根無 喜一
		3	13:30～15:15	根無 喜一
平成30年8月1日	水	1	9:00～10:45	井上 専
		2	11:00～12:45	岩岡 眞弘

3. 受講申込手続

便箋等に「教職実践演習（高）」の受講希望の旨を記入し、返信用封筒（宛名明記・82円切手貼付）を同封して通信教育部まで「受講申込書」を請求してください。

「受講申込書」到着後、必要事項を記入し、「履修カルテ（完成済）」を同封の上、通信教育部まで返送し受講申込手続を完了してください。

なお、「教職実践演習（高）受講申込書」は、ホームページからもダウンロード

掲 示 板

ンロードできます。

また、「履修カルテ（完成済）」が同封されていない受講申込は、受理できませんので注意してください。

4. 受講申込締切日

平成30年7月6日(金)必着

Ⅲ. 平成30年度 単位修得試験日程について

平成30年度の単位修得試験日程は下表のとおりです。テキスト学習（通信授業）の単位修得試験は年計4回行われます。

試 験 日	レポート提出締切日	受験申込受付期間
H30.6.17(日)	H30.5.7(月)	H30.5.21(月)～H30.5.25(金)
H30.8.19(日)	H30.7.9(月)	H30.7.23(月)～H30.7.27(金)
H30.11.25(日)	H30.10.22(月)	H30.11.5(月)～H30.11.9(金)
H31.2.3(日)	H31.1.7(月)	H31.1.15(火)～H31.1.18(金)

㊦履修について

「単位修得試験問題範囲番号表」に㊦とある授業科目は、平成30年度からテキストを変更したため、平成29年度および平成29年度以前の履修登録者を対象に1年間を限度として、平成29年度レポート課題によるレポート提出および平成29年度単位修得試験問題による受験を認めています。「㊦履修」はこの制度のことを表わします。

掲 示 板

Ⅳ. 平成30年度 リポート提出日と添削後の返送予定 (目安) について

本学通信教育のリポートは第4種郵便の適用を受けており、通常(第1種)の郵便よりも到着するまでに日数を要します。また、土日祝日等における郵便配達の場合、リポート到着が遅れる場合もあります。

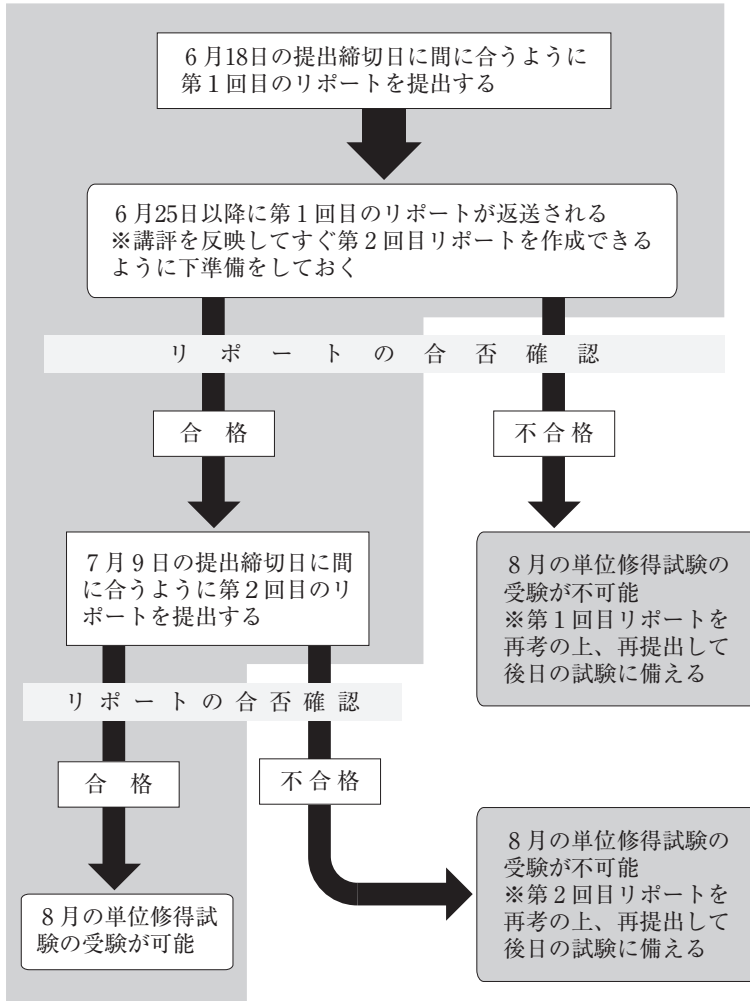
その点を考慮した上でリポートを提出してください。特に、同一科目で第1回目リポートの合格直後に第2回目リポート提出の際、上記のケースにより間に合わない可能性が多分にありますのでご注意ください。

リポート提出締切日(必着) (事務室受付期間)	事務室返送予定日	リポート提出締切日(必着) (事務室受付期間)	事務室返送予定日
H30.6.18(月) (H30.5.29~6.18)	H30.6.25(月)	H30.11.12(月) (H30.10.23~11.12)	H30.11.19(月)
H30.7.9(月) (H30.6.19~7.9)	H30.7.17(火)	H30.12.3(月) (H30.11.13~12.3)	H30.12.10(月)
H30.7.30(月) (H30.7.10~7.30)	H30.8.6(月)	H31.1.7(月) (H30.12.4~H31.1.7)	H31.1.11(金)
H30.8.20(月) (H30.7.31~8.20)	H30.8.27(月)	H31.1.21(月) (H31.1.8~1.21)	H31.1.28(月)
H30.9.10(月) (H30.8.21~9.10)	H30.9.18(火)	H31.2.12(火) (H31.1.22~2.12)	H31.2.19(火)
H30.10.1(月) (H30.9.11~10.1)	H30.10.9(火)	H31.3.4(月) (H31.2.13~3.4)	H31.3.11(月)
H30.10.22(月) (H30.10.2~10.22)	H30.10.29(月)	H31.3.25(月) (H31.3.5~3.25)	H31.4.1(月)

※事務室が閉室あるいは職員が不在の時に、リポートをカウンターの上や事務室前などに置いて帰っても当方では受付できません。もしそれに基づくトラブルが生じて、当方では一切責任を負えません。

掲 示 板

例) 平成30年8月19日実施の単位修得試験で、4単位科目を受験するために、最短期間でレポートを提出する場合



※第1回目・第2回目のレポートを同時に提出することはできません。

掲 示 板

V. 学費の分納について（前期生対象）

前期生（4月入学）で平成30年度の学費分納者は、2回目の納付期限が平成30年7月31日(火)となっています。納付期限までに納付してください。

なお、納付金額など不明な点があれば、通信教育部事務室まで問い合わせてください。



キャンパス内全面禁煙

掲 示 板

Ⅵ. 単位修得試験（8月試験）の実施について

単位修得試験を次の要領で実施します。受験希望者は所定の手続きのうえ受験してください。

1. 試験日時

平成30年8月19日(日)10:00～16:00 (本学・学外試験場)

2. 場 所

- (1) 本 学
- (2) 学外試験場

札幌、福島、東京、富山、浜松、名古屋、和歌山、姫路、鳥取、岡山、
広島、高松、松山、高知、福岡、長崎、熊本、鹿児島 以上18試験場

3. 時 間 割

講時	時間	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名
1	10:00)	0101	哲 学 (0100 哲学概論)	1202	経営管理論Ⅱ	8002	医療経営情報論
		0108	倫理学 (0107 倫理学概論)	1437	基本経済学Ⅱ	5029	教育原理Ⅰ
		0127	地理学 (0126 地域地理学)	1013	国際マーケティング論	5030	教育原理Ⅱ
		0206	現代憲法 (0203 現代憲法A)	1061	国際会計論	5013	同和教育論
		0320	心理学 (0319 心理学概論)	1407	金融経済論	5060	教師論
		1008	保険論Ⅱ	1439	財政学		
		1056	原価計算論Ⅱ	1625	税法		
			1658	民法Ⅱ			
2	12:20)	0201	経済と社会 (0200 経済学概論)	1005	流通政策Ⅱ	1657	民法Ⅰ
		0205	法と社会 (0202 法学概論)	1058	会計監査論Ⅱ	1667	商法Ⅰ
		0315	地球と宇宙の科学 (0314 地球の科学)	1059	税務会計論Ⅱ	8001	医学一般論
		0318	統計学 (0317 統計学概論)	1060	経営分析Ⅱ	5001	教育心理学
		0411	スポーツ科学論 (0409 生涯スポーツ論)	1009	商業数学	5010	• 特別活動
		1000	商業学Ⅱ	1203	経営統計学	5061	商業科教育法Ⅰ
14:00	1004	国際貿易論Ⅱ	1206	経営財務論	5062	商業科教育法Ⅱ	
3	14:20)	0110	歴史学 (0109 歴史)	1003	マーケティング論Ⅱ	1668	商法Ⅱ
		0116	文学 (0115 文学概論)	1055	財務諸表論Ⅱ	8003	病院経営会計
		0217	社会学 (0215 現代文化論)	1200	経営学Ⅱ	8004	福祉経営情報論
		0218	政治学 (0216 政治学概論)	1010	外国為替論	8005	医療福祉経営論
		0305	生物学 (0304 生命の科学)	1205	• 生産管理論	5002	教育方法学
		0326	物理学 (0325 現代物理学)	1210	経営組織論	5111	• 生徒指導の理論と方法 (5011 生徒指導の研究)
		0410	健康科学論 (0408 健康と運動)	1212	経営学史	5015	• 職業指導
		1002	流通論Ⅱ	1220	経営システム論	5071	進路指導概論

(注) 1. 各講時 (100分) において2科目まで受験できます。

2. 1科目の試験時間は50分間です。

3. 各講時内で1科目のみ受験する場合も、必ず開始時間までに試験場へ入場してください。

4. • 印の科目は教科書が変更されました。平成29年度以前に登録した者で、旧問題での受験希望者は受験申込時にその旨明記する必要があります。

掲 示 板

4. 試験問題

大阪学院大学通信教育部 HP (<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>)
より『開講科目一覧』をクリックし、更に『シラバス』をクリックして、
受験する科目の「講義要項(Syllabus)」を選択してください。試験問題は、
「テーマ・課題」より出題されます。

5. 試験範囲

次頁の「単位修得試験問題範囲番号表(8月試験)」を参照してください。
問題番号は、「テーマ・課題」番号を示しています。

6. 受験資格

次の(1)~(4)を満たしていることが条件となります。

- (1) 学費を納付していること
- (2) 受験する科目を履修登録していること
- (3) 2単位科目はレポートが合格していること。また、4単位科目は第1回・第2回のレポートが合格していること。
- (4) 「商業科教育法Ⅱ」は、既に講義を受講済みであること。

7. 手続書類

- (1) 単位修得試験受験申込書(本誌巻末に添付)
- (2) 返信用封筒(宛名明記・82円切手貼付)

8. レポート提出締切日

平成30年7月9日(月)必着

9. 受験申込受付期間

平成30年7月23日(月)~7月27日(金)必着

掲 示 板

単位修得試験問題範囲番号表（8月試験）

試験日：平成30年8月19日(日)

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
哲学(哲学概論)	4:5:6	商業学Ⅱ	2:6:10	商業数学	3:9:14:17:24
倫理学(倫理学概論)	4:5:6	流通論Ⅱ	3:7:13	外国為替論	4:5:6:7:8
歴史学(歴史)	4:5:6	マーケティング論Ⅱ	5:6:7	国際マーケティング論	4:5:6:15:16
文学(文学概論)	2:6:10	国際貿易論Ⅱ	2:3:4	国際会計論	2:6:9:13:15
地理学(地域地理学)	2:5:7	流通政策Ⅱ	4:5:6	経営統計学	2:10:18:22:26
経済と社会(経済学概論)	4:5:6	保険論Ⅱ	2:8:13	生産管理論	1:4:5:6:7
法と社会(法学概論)	4:5:6	財務諸表論Ⅱ	4:5:6	㊦生産管理論	5:17:18:20:23
現代憲法(現代憲法A)	3:8:10	原価計算論Ⅱ	4:5:6	経営財務論	6:7:8:9:10
社会学(現代文化論)	5:6:7	会計監査論Ⅱ	2:6:7	経営組織論	6:7:8:9:10
政治学(政治学概論)	2:6:10	経営分析Ⅱ	2:4:6	経営学史	4:8:12:17:22
生物学(生命の科学)	2:6:10	経営学Ⅱ	4:5:6	経営システム論	3:6:13:16:23
地球と宇宙の科学(地球の科学)	2:6:9	経営管理論Ⅱ	2:6:10	金融経済論	2:7:11:16:24
統計学(統計学概論)	1:6:10	基本経済学Ⅱ	4:5:6	財政学	7:9:10:11:12
心理学(心理学概論)	4:6:10	医学一般	4:5:6	民法Ⅰ	4:10:16:20:23
物理学(現代物理学)	2:6:9	医療経営情報論	3:7:11	民法Ⅱ	2:7:17:21:23
健康科学論(健康と運動)	1:5:12	病院経営会計	3:5:9	商法Ⅰ	6:7:8:9:10
スポーツ科学論(生涯スポーツ論)	2:6:12	福祉経営情報論	5:8:11	商法Ⅱ	6:7:8:9:10
				医療福祉経営論	1:4:10:17:23

教職課程科目〔新課程〕

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
教師論	3:4:5	特別活動	1:7:10	職業指導	6:8:9:10:11
教育原理Ⅰ	4:5:6	㊦特別活動	4:5:6	㊦職業指導	6:8:13:14:15
教育心理学	1:8:12	教育方法学	5:6:7		
教育原理Ⅱ	4:5:6	生徒指導の理論と法 <small>(生徒指導の解説)</small>	1:9:13		
商業科教育法Ⅰ	3:5:11	㊦生徒指導の理論と法 <small>(生徒指導の解説)</small>	3:9:14		
商業科教育法Ⅱ	3:8:12	進路指導概論	4:5:6		
		同和教育	4:5:6		

注. 試験問題は、通信教育部ホームページよりシラバスを参照してください。授業科目の前に「㊦」のある場合は「シラバス2017」で確認してください。

各科目範囲番号より1題が出題されます。

※通信教育部ホームページを閲覧できる環境のない方につきましては、通信教育部事務室まで問い合わせてください。

 掲 示 板

VII. 教職課程の法律が変わります【重要】

教育職員免許法・同施行規則の改正により、2019年4月1日から改正後の新法が適用されます。

正科生

- 2018年度以前入学生
現行法〈注1〉を適用
(経過措置期間あり、経過措置詳細は未定)
- 2019年度以降入学生(復籍・再入学含む)
新法〈注2〉を適用

入学年度により以下のとおり取り扱いが異なります。

現在の課程を履修する

2018年度以前入学生

新課程を履修する

(新しい条件を充たす必要が生じます)

- (1) 2019年度以降入学生(復籍・再入学含む)
- (2) 2018年度以前入学生のうち、以下の者
 - ① 2019年度以降に卒業・退学・除籍により学籍が一度切れる
 - ② 2019年度以降に科目等履修生として在籍する

科目等履修生(教職課程)

- 2018年度まで
現行法〈注1〉を適用
- 2019年度から
新法〈注2〉を適用

※本学の科目等履修生の履修期間は1年間ですが、所定の手続きにより継続履修が可能です。しかしながら、2018年度に科目等履修生(教職課程)として入学した学生が継続履修し、2019年度以降も在籍する場合、学修途中であっても2019年度からは新法の適用となります。

☆卒業・退学・除籍等を優先し、その後、取り残しの教職科目の学修を予定している正科生

☆2019年4月までに教職科目を全て修得できない科目等履修生
大阪学院大学 教務事務室教務課 通信教育部までご相談ください。

新課程の新しい条件は、

●必修科目の新設(数科目)

上記内容の変更があります。現在の課程での修得単位は有効ですが、場合によっては新たに科目修得が必要になる可能性があります。

〈注1〉現行法…平成10年度改正法を指す。

〈注2〉新法…平成31年度から適用される法律を指す。

上記内容については、文部科学省の今後の方針変更等により変更になる場合があります。

掲 示 板

Ⅷ. 卒業生だより

平成30年3月20日に卒業された先輩方から、メッセージが届いております。勉学を続ける上でのご参考にしてください。

「卒業に際しての所感、これから通信教育部で学習される方へ」

寺野 キヨ

私は2012年4月、大阪学院大学に入学してから卒業できるまで6年かかりました。私に大学入学の動機を与えたのは、高校の級友でした。私より年上でしたが現役で大学に入学したのです。私は60歳を過ぎていましたが、彼女の年齢に関係ない学問への意欲は、私を大学で勉強してみたい、挑戦しようという気持ちにさせました。子どもが探してくれた大学を私は選択しました。考えてみると他力のようにもあります。学習するのは私自身なので最終的には自分自身で決定しました。入学することはできましたが、学習内容を理解できるか少し不安もありましたが頑張る決意をしました。

最初、レポート課題で1,900文字から2,100字以内にまとめることに苦心しました。新規のレポートや否で返却されたレポートも、取りくむのは早いのですが、書き終える迄の時間が遅いのが常でした。レポートも試験も科目によっては一度では合格できないことも多々あり、合格する迄挑戦しました。学習するにあたっては、自宅から交通の便利な府立図書館も利用しました。入学時私は60歳を過ぎていましたが、私に対して子どもや孫のような若い方々が殆んどで、スクーリング科目やレポート科目の試験日でも真剣に頑張っている姿に感激と元気をいただきました。

6年間を振り返ってみると、大勢の方々に大変お世話になりました。第一に大学の学問に関して未熟な私に卒業迄導いてくださりご指導くださいました諸先生方、事務室の職員の皆様方心から深く感謝申し上げます。ありがとうございました。また、学習するにあたってお世話になった同大学の学生の方々ありがとうございました。

私は専業主婦ですが、学習が進むにつれて視野も広がり、大学で学ぶことによりとても大事なものを得ました。今後も通信教育で学んだ知識を大切に活かしていきたいと思います。

通信教育は、自分で習得したい科目を選択し、自分で計画を立て、自分のペースで自由に学習を進めていくことができるという利点があります。通信教育部の学生は年齢差も大きく、個人的な事情も色々で、仕事と学業を両立されている方などご苦労が多いと思いますが、「絶対に卒業するまで頑張る」という楽しみにかえて卒業までの道のりをつき進んでいただきたいと願います。大学通信やシラバスも重要で注意深く読むと、レポート作成や試験の情報も得られます。私は参考文献などを利用したために府立図書館も利用し

掲 示 板

ました。大学に通うスクーリング授業は、自宅学習では得られない貴重な時間です。学友との情報交換もでき、良い経験になります。学生である現在を楽しみながら目標達成に向かって頑張ってください。

竹林 沙織

卒業単位を修得できたのは、秋期スクーリングでの単位修得試験の合格通知が来た時でした。私は1年次に入学し、入学当初から4年間で卒業できるおおまかな計画を立て、それが順調に進み今回の卒業を迎えられた事に安堵しています。入学当初は、会社経営について学びたいと思い経営学と会計学に特化した科目選択をしていました。3年次には、原価計算に面白みを感じたことで、会計学への興味が増し、これまで苦手であった簿記が楽しく感じられ「建設業経理士2級」を取得しました。また、勉強する環境ができたことで体系的な学習習慣が築かれ、大学の勉強に加え、趣味である旅行に関する資格「総合旅行業務取扱管理者」も取得できました。

私は現在、建設業界で設計者として従事しています。そのため、大学で学ぶのであれば、工学部を志望していました。しかし、理系学部の大学では、実験が伴うためか通信教育での学部を設ける大学はありません。ただ、技術者であっても経営や会計の知識を得ることの重要性を感じており本学に入学しました。限りのある資源をどのように効率的に活用するのかを考える力は、技術者としても重要な課題だと考えています。また、理系の仕事であっても成果を報告するためには、一般の人でもわかりやすく報告書を作成する文章力が問われます。高校までの学習とは違い、大学では基礎的思考や過去の事例等を元にした考察から、出題された課題に沿った解答を文章で表現する事が求められ、これが実務での報告書作成にも役立っています。その上、大学での学習は、社会人にとって日常生活の経験値からも気付かされる事柄も多く、学ぶ事の楽しさを見出すこともできました。

これから通信教育部で学習される皆さん、通信教育部での学習はレポートの提出が中心であるため、いかにテキストを読みまとめるかがポイントとなります。まずは、課題で問われている内容を理解し、その解答となる箇所を読みキーワードを見つけることです。そして、そのキーワードがなにを意味するのか論じることが重要です。レポート作成での注意点としては、指定された教科書で示される内容で書くことです。課題に対する考えは、文献によって違う解釈がなされている場合もあり、他の文献を広範囲に調べることで論点にずれが生じたり、解釈の違いなどから課題に対する適切な解答ができない場合もあります。私も様々な文献や論文を読みましたが、あくまでも参考文献としての活用に留めました。レポートに合格しなければ、単位修得試験の受験ができないので、純粹にその課題のテキスト的解釈を書くことが重要です。課題に対し先生方にこういう理解に達しましたといった学習成果を見せる場がレポートなのではないかと思います。また、通信生であっても

掲 示 板

大学施設を利用する事が可能です。私は自宅が大学に近いこともあり図書館をよく活用しました。週末の図書館は人も少なく自己学習にも最適だと思います。それに大学生活を実感することで学習のモチベーションも保たれると思いますので、ぜひ大学へ足を運んでみてください。

民本 裕貴

私は、2014年の10月、本学の3年次へ編入学しました。社会人1年目の秋でした。私が入学を決意した最も大きな理由は、多くの方がそうであるように、大学の卒業資格を欲したためでした。

私は専門学校で貿易に関する勉強をしていましたが、いざ就職活動となった際、希望していた貿易業界、とりわけ海運関係の職は専門学校卒の募集が非常に少なく、またあっても待遇面に大きな違いがある企業も多くありました。もちろん、そこには私のリサーチ不足もあったと痛感しましたが、それで非常に悔しい思いをしました。本学で大学卒業の資格を取得し、自身のキャリアの糧にするため、入学を決意しました。

しかし実際に入学してみると、主体的に取り組まなければレポートは進まず、考えていたよりも仕事と並行して計画的に学習を進めることは容易ではありませんでした。初めてレポートが不合格で返送されてきた時はとても落ち込んだことを覚えています。

初めてのレポート提出は、不安でいっぱいでした。しかし、これから学ばれる皆さんにはひとまず書いて提出してみることをすすめます。先生方からアドバイスのフィードバックを受け、レポート作成にあたっての自信をつける良い機会になると思います。その後のレポート提出への不安解消にもなると思います。

仕事をしながらのスクーリングは、職場の理解と協力が必要ですが、集中的に学習を進めることができ、また直接先生方の講義を受けることができるため、講義の内容をしっかりと理解できるメリットがあります。

私の入学の主な動機は上述した通りですが、せっかく新たな知識を学ぶならばと、内容を自分のモノにできるよう、テキストの読み込みに努めました。選択可能な科目も多く、興味がある科目を自分で選べるため、基本的に楽しく学ぶことができたと感じています。

最終的に、私は予定より1年半伸びて3年半かかっていた卒業となりましたが、有意義な内容の講義ばかりで、社会人として視野を広げる一助ともなりました。

これから通信教育部で学習される皆さんはどのような理由でご入学されるのでしょうか。どのような理由であっても“主体的”に学習を進めることがとても重要です。私の場合、テキストの内容を十分に理解できていなくても、まず文字を書き出すようにしていました。その中でうまく説明ができない点についてテキストを再度読み込み、必要であれば資料を参考にしながらレポート作成を進めました。レポートが苦手な方は積極的にスクーリングを活

掲 示 板

用してもいいと思います。レポートの提出は、誰も急かしませんし、自分への言い訳がしやすい環境の方も比較的多いと思います。ぜひ、主体的に、そして計画的に単位修得を目指していく参考にして頂ければ幸いです。ありがとうございました。

秋山 忍子

私は2015年4月に3年次編入し、3年間の学生生活を経て、このたび無事卒業を迎えることができました。入学を決意した動機は仕事上での知識を広げ、大学卒業資格を取得するためです。約30年前に短大卒業後、初めて社会人となった職場の経理課で複式簿記に出会い、その貸借が均衡する優れた仕訳の仕組みに感嘆しました。仕訳から決算処理までの流れをコツコツとこなす経理事務が自分の性に合っていたのでしょうか。家庭の事情で正社員から派遣・契約社員と雇用形態の変化はあるものの、長く経理関係の事務職に就いてきました。その間の日本は、バブル崩壊を経て失われた20年と言われる混迷した社会経済の中、IT普及等により情報が瞬時に世界を駆け巡る今日のグローバル化に至った時代でした。職場では一般経理事務職も、日常経理業務の少数精鋭と称する人員削減で大量の財務情報をコンピュータ処理する体制となり、気が付けば経理事務という分野の仕事は機械に取って代られ、経理担当者は税法の科目合格者や経済・経営学部出身者が占めるという状況になりました。自分の置かれた厳しい状況を冷静に判断し、今成すべきことを考えた結果、この激変する社会経済を取り巻く法律・経済のしくみを学問として基礎から体系的に学ぶ必要性を痛感したのです。

入学当初のレポート作成では、起承転結を心掛けながらも上手く結論に結び付けられず苦勞しました。期限に追われ本意ながらの提出もありましたが、返送されたりレポート添削票の講評のお蔭で再作成への意欲が湧き、いつしか返送日が待ち遠しくなったものです。

更にスクーリングでは、疑問に思い新聞やTV等で自分なりに理解したつもりになっていた経済・社会事象の多くが、実は過去の世界歴史より一連の流れを成し現在へと繋がり一定のパターンを繰り返していることを学べたことは大きな収穫でした。今後、更に世の中が進化し便利になっても、その恩恵を不必要なまでに追い求めない「ほどほどに」と言うバランス感覚を皆が共有できれば、人は心の均衡を保ち、それが社会経済の均衡にも繋がるのではないかと。スクーリング授業を通じ、その様な視点で世の中を見られるようになったことは、私にとって何よりの自信に繋がりました。

これから通信教育で学ばれる方へ、スクーリング授業には時間の許す限り多く出席されることをお勧めします。共に授業を受けた年齢、職業等目的の異なる様々な学生さんとの交流(限られた学習時間を如何にやり繰り返してレポート作成を進めているか等の情報交換)は、孤独な自宅学習継続へのヒントと励みになりました。取得科目は出来れば割り当てられた年次の順番に受講する方が全ての科目が無理なく理解に繋がるので、効率の良い受講方法だ

掲 示 板

と思います。長期戦ですので、体調管理には十分気をつけて頑張ってください。

最後に、ご指導いただきました先生方、通信教育部職員の皆様、そして遅い気付きで年齢的に入学をためらっていた私の背中を押してくれ、卒業まで見守り励ましてくれた家族と友人に心より感謝申し上げます。

福井 雅子

大阪学院大学の通信教育部で学んで2年、卒業の時を迎えている。月並みな表現であるが、短いような長いような2年だった。

私は、昔、神戸大学在学中に親が始めた事業を手伝うことになり、業務拡張の野望に燃えて中退した。しかし、親が体を壊し、紆余曲折の後、経理職について長い。後悔はしていないが、人生、何があるか判らないので、退路は残しておくべきだったと思う。

外資系企業に転職し、米国公認会計士の受験を考えたが、受験資格である大卒資格と専門分野の単位をそろえるのが容易でなかった。他の通信制大学に編入し、マルクスの「資本論」を初めとする難解なテキストが全く頭に入っていらず、撃沈したこともある。

少し前、再び外資系企業にご縁があり、今度こそ、やり残したことを片づけようと思ったのが今回のチャレンジのきっかけである。

大阪学院大学の通信教育部の授業は、学習の負担が重すぎず、軽すぎず、働きながら学ぶのにちょうどよいように思われる。テキストも読みやすく、面白いものが多かった。理論も大切だが、企業が生き残りをかけて戦う現実が好きな私は、色々な事例に触れる機会が多かったこの大学の授業が好きだった。

初めの頃、レポートに何を書いてよいのなかなか思いつかず、図書館でもよい資料がなく、締め切り直前に、怪しい記憶の断片と思い込みだけで無理やり書いてだしたことがある。かろうじて合格はもらえる範囲にしる、投函の時にすっきりせず、さらに、添削後のレポートを見て、雑にするのはやめようと反省した。レポートが返却されないシステムだったら、先生がどのような思いで読んでくださったか、何となく感じることもなかったと思う。

結局電子書籍やインターネットを使って、官公庁やそのテーマについて熟知している団体や専門家の論文や報告等を探して参考にした。この2年間に書いたレポートは約30。書評や随筆向けの軽い文体のままではあったが、少し書き慣れたような気がしている。

月末月初に休めず、スクーリングは秋冬しか参加できなかったのも、とれない科目もあって残念だったが、気分が変わってよかった。

仕事をしながら予定どおり学習をすすめるため、学習スケジュールをたて、レポートの期限や単位修得試験の申込等の管理をしてきたので、今はひとつのプロジェクトの完成を待っている感じである。しかし、終わりは次の始まりでもある。戦いはあと2ステージ待っている。それが達成されたときに、これから通信教育で学習される方に、もっと説得力をもったメッセージが送

掲 示 板

れるように思う。

まずは、最初のステージ通過を支援してくださった大学と先生方に感謝の意を表したい。

掲 示 板

区. 行事予定 (6月)

日	月	火	水	木	金	土
					1 日本学生支援 機構奨学金 出願書類請求 締切日	2 創立記念日 事務休日
3 事務休日	4	5	6	7	8	9
10 事務休日	11 夏期スクーリング 受講申込受付 開始(至6月22日)	12	13	14	15	16
17 単位修得試験 (本学・学外)	18	19	20	21	22 夏期スクーリング 受講申込受付締切日 →	23
24 事務休日	25	26	27	28	29	30

掲 示 板

区. 行事予定 (7月)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
事務休日					夏期スクーリング 振込証明書 提出期日 「教職実践演習(高)」 受講申込締切日	
8	9	10	11	12	13	14
事務休日						
15	16 海の日	17	18	19	20	21
事務休日	事務休日					
22	23	24	25	26	27	28
事務休日	8月単位修得 試験受験申込 受付開始 (至7月27日)					夏期(第I期) スクーリング開始 「教職実践演習 (高)」講義開始
29	30	31				
			→			
			→			